



**富山市**  
**エネルギー効率改善計画**  
**【概要版】**

**2015年3月**  
**富山市**



# 1

## はじめに

### 富山市エネルギー効率改善計画の策定

- エネルギーは、地球環境の保全のほか、経済活動や私たちの日常生活を支える重要な役割を果たしています。
- 富山市が持続可能なエネルギーのあり方を実現する上では、都市全体のエネルギーを効率的に利用していくことが必要であり、このたび、「富山市エネルギー効率改善計画」を策定しました。
- この計画では、富山市が進めている「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」を核に、エネルギー効率を改善していくための取組を示しています。

### 国際的なレベルでの持続可能なエネルギー政策の重要性

- 国際連合では、経済成長、社会的公平、環境問題を解決し世界が繁栄するための鍵としてエネルギーを位置付けています。
- Sustainable Energy for All (SE4ALL) “万人のための持続可能なエネルギー” は、2011年に国連事務総長が「エネルギーは全ての国にとっての利益の根幹にある」として提起したイニシアティブです。

### ■ Sustainable Energy for All (SE4ALL) の目標



普遍的なエネルギーへのアクセス達成

世界全体でのエネルギー効率の改善ペースを倍増

世界全体での再生可能エネルギーのシェアを倍増

### エネルギー効率改善都市

- SE4ALL では、エネルギー効率改善の目標に向けて努力する都市を選定しています。
- 富山市は、「環境未来都市」や「環境モデル都市」としてこれまで取り組んできた実績や将来的にエネルギー効率の改善が期待できる点などが評価され、日本から唯一、「エネルギー効率改善都市」に選定されています。

### ■ エネルギー効率改善都市（13 都市・地域）

アルマティ(カザフスタン)	アスタナ(カザフスタン)
セティンチェ(モンテネグロ)	済南(中国)
レオン(メキシコ)	リマ(ペルー)
マニラ(フィリピン)	リオデジャネイロ(ブラジル)
ティンブー(ブータン)	ウランバートル(モンゴル)
ワルシャワ(ポーランド)	富山(日本)
イスカンダー地域(マレーシア)	

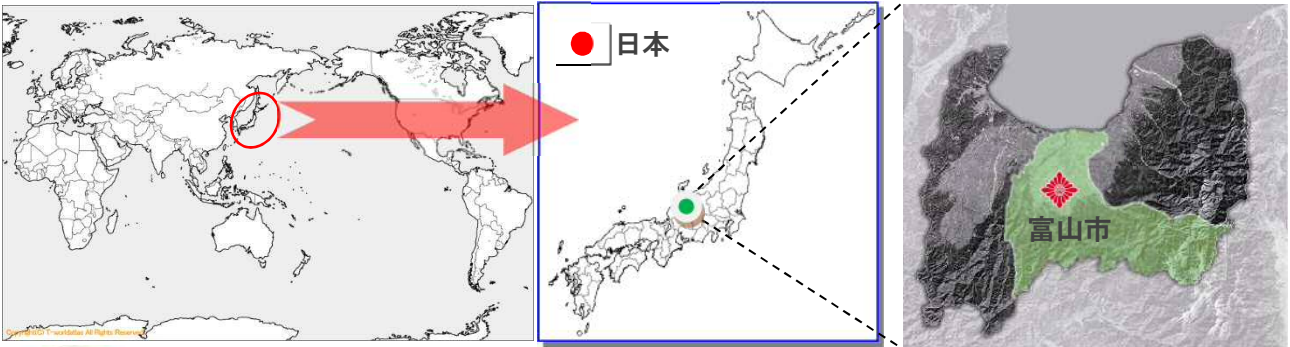


## 2

## 富山市の概況

- 富山市は、富山県の県庁所在地であり、県の中央部から南東部にかけて位置しています。
- 海拔 0mの富山湾から 3,000m級の立山連峰まで自然豊かな多様な地形を有しています。
- 人口は約 42 万人、面積は約 1,242k m<sup>2</sup>となっています。
- 日本海側有数の中核都市として発展しています。

### ■富山市の位置



## 3

## これまでの主な取組

- 富山市では、「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」を基本方針として、公共交通の活性化や、中心市街地・公共交通沿線への機能集積、省エネルギー・再生可能エネルギーの普及促進などエネルギー効率の改善に向けた取組を行っております。

主な取組	取組の概要
LRT ネットワークの形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 富山港線の L R T 化や市内電車環状線化を実施</li> <li>● 今後は北陸新幹線開業に伴い整備している路面電車の南北接続を実現</li> </ul>
まちなか・公共交通沿線居住の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 都心地区と公共交通沿線居住推進地区において、良質な住宅の建設を行う事業者や住宅を購入する市民に対し助成</li> </ul>
自転車市民共同利用システムの導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境に配慮した新たな公共交通手段として、誰でも自由に貸し借りできる自転車の共同利用システムを都心地区に導入</li> </ul>
省エネルギー・再生可能エネルギーの普及促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住宅用太陽光発電設備や省エネ設備の導入を支援</li> <li>● 北陸電力(株)と富山市が連携して電気事業用メガソーラー発電所（発電出力 1 MW）を整備</li> <li>● 農業用水を活用した 2 箇所の小水力発電施設を整備</li> </ul>



# 4

## 富山市のエネルギー消費の実態

- 2011年のエネルギー消費量は、2005年と比較して約4%の減少となっています。
- 運輸、業務・その他、産業の3つの部門は、減少していますが、家庭部門は増加しています。  
※エネルギー転換部門は除く

■エネルギー消費量の推移



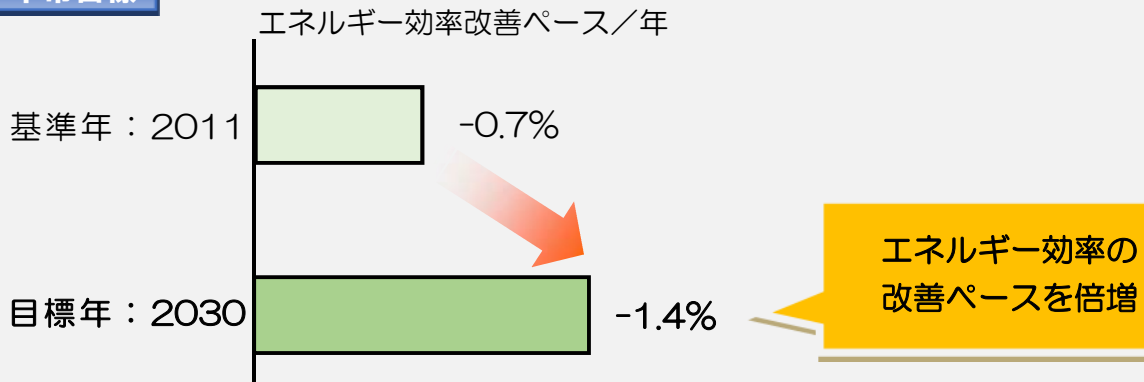
# 5

## 目標

2030年までにエネルギー効率の改善ペースを倍増（2011年比）

- 計画の推進により、SE4ALLの他の2つの目標「普遍的なエネルギーへのアクセス達成」、「再生可能エネルギーのシェア倍増」の達成にも補完的に寄与。

### 本市目標



- 「ガソリン等消費量、電力消費量、ガス消費量」の削減量を主な取組指標として設定し、進捗を管理
- 再生可能エネルギー導入量についても、取組の参考指標として設定し、進捗を管理

# 6

## 取組方針と主な取組

### 取組方針1 公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり

- 公共交通ネットワークの形成やシームレスな移動環境の形成
- 中心市街地や公共交通沿線での商業・医療・福祉等の都市機能の集積と併せた高効率なエネルギーシステムの導入
- 郊外の戸建住宅からまちなか・公共交通沿線の集合住宅への住み替えとあわせた省エネ性能の向上

#### 公共交通の活性化

- LRT ネットワークの形成（路面電車の南北接続等）
- 公共交通の基盤整備（富山駅周辺整備等）
- 公共交通の利用促進（交通系 IC カードの利用拡大等）
- 交通行動の転換（自転車市民共同利用システムの利用促進等）

#### 中心市街地や公共交通沿線への機能集積

- 都心及び公共交通沿線居住の推進（住宅の建設・取得への支援等）
- 中心市街地の活性化（都市再開発の推進等）
- 地域拠点の育成（セーフ&環境スマートモデル街区の整備等）

### 取組方針2 エネルギーの有効活用

- 太陽光発電等の再生可能エネルギーの積極的な導入
- 都市開発の機会を捉えた省エネルギー性能の高い住宅・建築物の整備、既存建築物への高効率設備の導入

#### 再生可能エネルギーの導入推進

- 住宅への太陽光発電の導入支援
- 再生可能エネルギーの普及支援（再生可能エネルギービジネスの支援等）

#### 省エネルギーの推進

- 住宅の省エネ化の支援（HEMS の導入等）
- オフィスの省エネ化の支援（BEMS やコージェネの導入等）
- 行政施設・設備の省エネ化の推進（防犯灯の LED 化等）
- 次世代自動車の普及支援（充電インフラの整備等）
- 未利用資源・エネルギーの有効活用（エコタウン等）

### 取組方針3 市民・企業等への普及啓発

- 環境学習の機会や場の充実
- 環境負荷の少ないビジネススタイルや生産活動への転換を促進

#### エコライフの推進

- エネルギー・環境意識の啓発・誘導（環境教育の推進等）
- 廃棄物の減量化・リサイクルの推進（生ごみリサイクル等）

#### エコ企業活動の推進

- 省エネルギー活動への支援（削減目標策定、ノーマイカーデー等）
- 廃棄物の減量化・リサイクルの推進（事業系ごみリサイクル等）

### 取組方針4 国際展開の推進

- 途上国へのエネルギーアクセス向上のための支援の実施

#### エネルギーアクセスへの支援

- 途上国への普及啓発（セミナー開催等）
- 途上国への再生可能エネルギー導入支援（インドネシア等）

# 7

## 計画期間(2015年~2019年)内に実施する主なプロジェクト

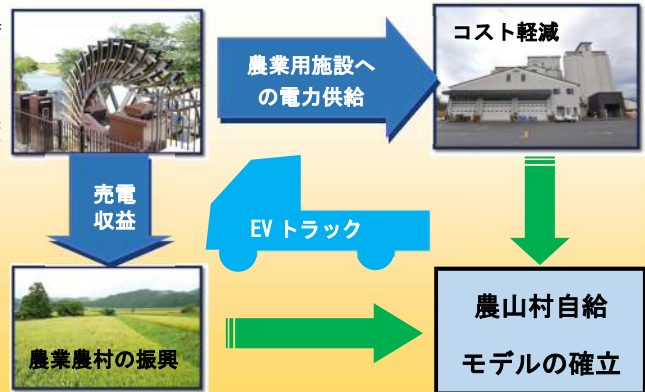
### (1) 路面電車の南北接続

- 富山駅の高架化と富山駅周辺の整備にあわせ、駅北側にある富山ライトレールの軌道を南側の市内路面電車軌道に接続し、路面電車の南北一体化を図り、路面電車のネットワークを構築します。



### (2) 農山村活性化に向けた再生可能エネルギー施設・整備の導入

- 農業用水を活用した小水力発電設備等の整備を推進します。
- 発電した電力は農業機械やEV等で活用します。
- 環境配慮型の農業農村振興事業の展開などにより、省エネルギー対策と農山村の活性化を一体的に推進します。



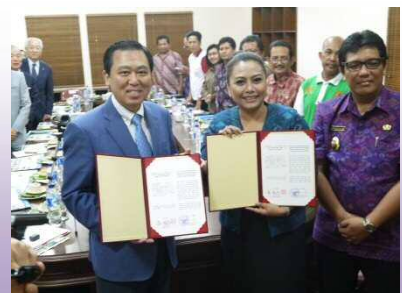
### (3) 次世代エネルギーパーク等を活用した環境意識啓発の推進

- 富山市内の地域特性を生かした小水力発電、太陽光発電、木質バイオマス燃料製造施設、バイオマス発電施設などの再生可能エネルギー施設を活用し、小中学生の環境学習や市民のエコツアーの拠点として啓発活動を行います。



### (4) 小水力発電技術の海外展開

- インドネシア等の途上国において、本市企業技術を活かした小水力発電設備を導入するなど、再生可能エネルギーの導入及び普及の支援を行います。



# 8

## 実現に向けた推進体制

### (1) 庁内の体制

- 環境、都市計画、交通、中心市街地活性化、農林、住宅、商工、福祉、文化、教育行政等の関係課が広く参加・連携し、分野横断的かつ柔軟に取り組める体制において推進します。
- PDCAサイクルにより、事業の推進とその効果測定等を実施し、効果的なエネルギー効率改善に向けた継続的な取組を推進します。
- 「環境未来都市計画」や「環境モデル都市行動計画」の取組との連携を図りながら、効率的・効果的に取組を推進します。

### (2) 産官学民の体制

- 富山大学をはじめとする学術機関や地元企業などとの連携を強化しながら、地域の産官学の知的資源の活用を図ります。
- エネルギー事業者や、商工会議所、交通事業者、住宅メーカー等と協力体制を築き、効果的な事業推進を行います。

### (3) 海外とのネットワーク形成

- 国際的な機関と連携するとともに、「エネルギー効率改善都市」に選定された、世界の都市・地域とも連携し、SE4ALL が掲げる 3 つの目標の達成を目指します。
- エネルギー効率改善に資する、富山市の取組や市内企業の技術を、東南アジアを中心とした途上国等にも展開し、各国のエネルギー施策を支援していきます。

編集・発行：富山市環境部環境政策課

〒930-8510 富山市新桜町 7 番 38 号

TEL 076-443-2053 FAX 076-443-2122

富山市ホームページ <http://www.city.toyama.toyama.jp>